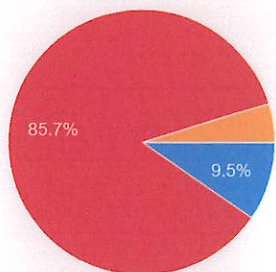


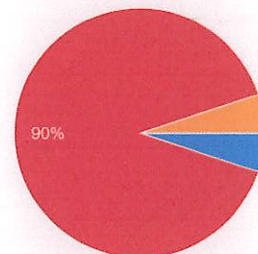
令和5年度 2学期 職員自己評価

重点目標に関わって①他者との関わり（力を合わせる）

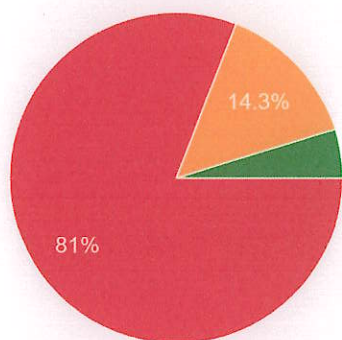


- 1 よくできた
- 2 まあまあできた
- 3 あまりできなかった
- 4 できなかった

一学期

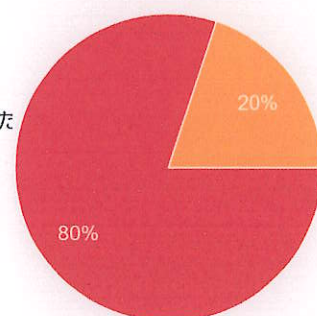


重点目標に関わって②授業づくり・学力向上（自分で考える）

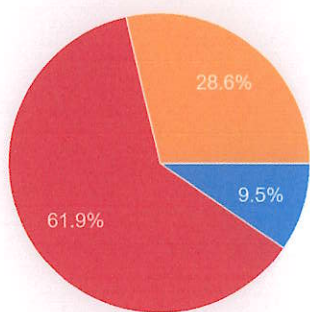


- 1 よくできた
- 2 まあまあできた
- 3 あまりできなかった
- 4 できなかった

一学期

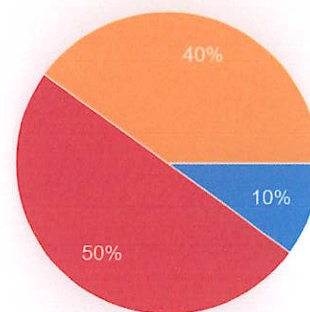


重点目標に関わって③体力向上・基礎定着（ねばり強く）

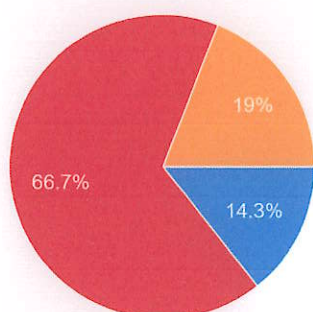


- 1 よくできた
- 2 まあまあできた
- 3 あまりできなかった
- 4 できなかった

一学期

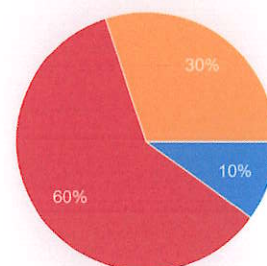


1 一人一人が不安なく安心して学校生活を送れ...権同和教育に積極的に取り組むことができたか。

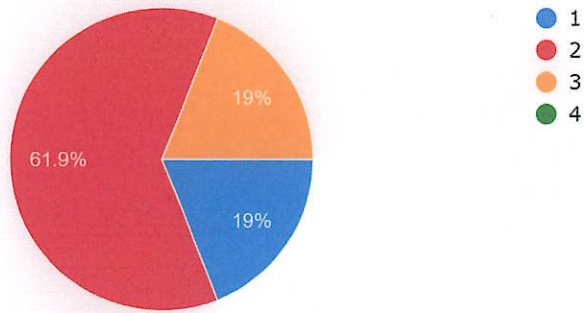


- 1
- 2
- 3
- 4

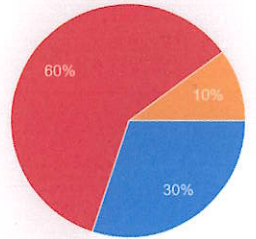
一学期



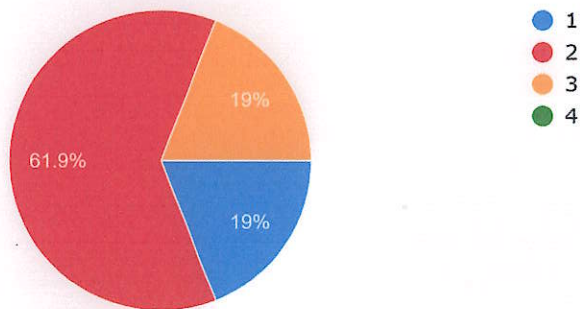
2 体育の授業や全校運動、運動会などの教育活...るようになる喜びを味わわせることができたか。



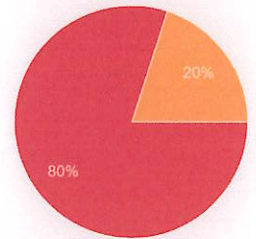
一学期



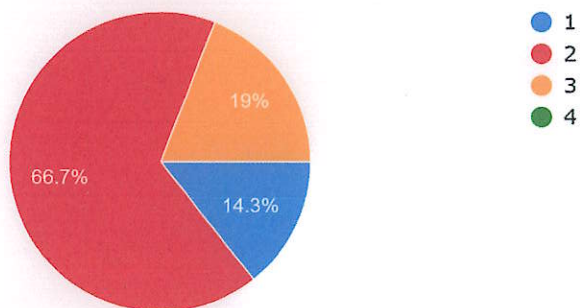
3 学習問題や学習課題、1時間の授業の流れな...体的・意欲的に取り組める授業が展開できたか。



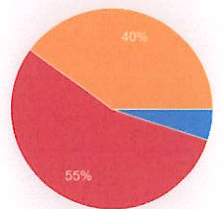
一学期



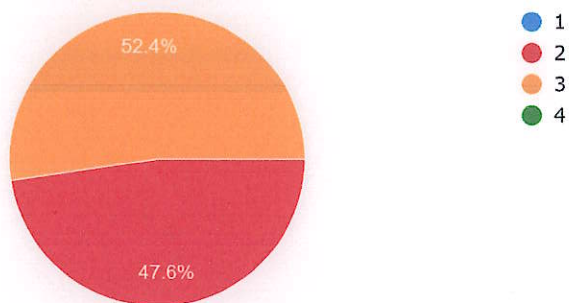
4 授業終末のまとめ・ふり返りや朝ドリルを確...することで、習熟・定着を図る指導ができたか。



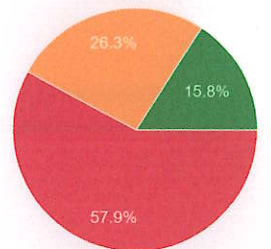
一学期



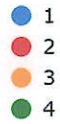
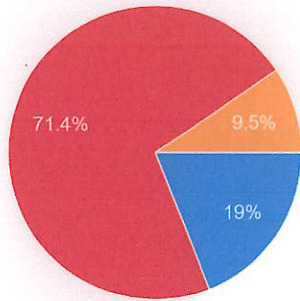
5 「聞き方・話し方名人」「声のものさし」を...方などの習慣を身につけさせることができたか。



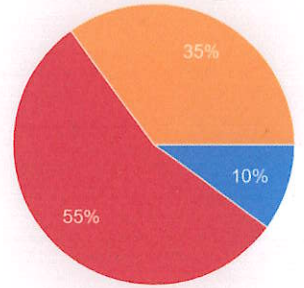
一学期



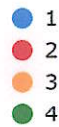
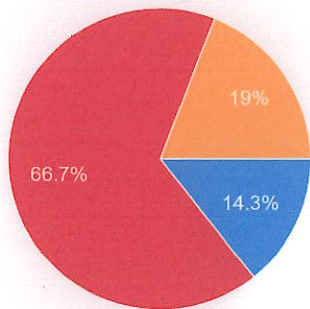
6 学習内容や場に応じた学習形態（個別、ペア...うことのできる授業を展開することができたか。



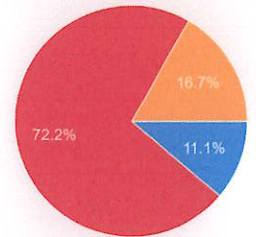
一学期



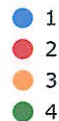
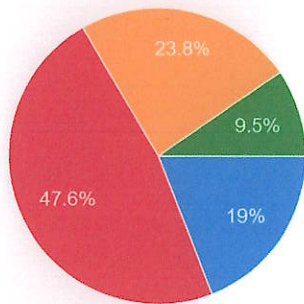
7 「おはようございます」「こんにちは」などの...童に実践力を身につけさせることができたか。



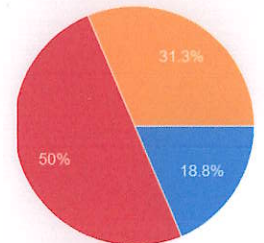
一学期



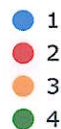
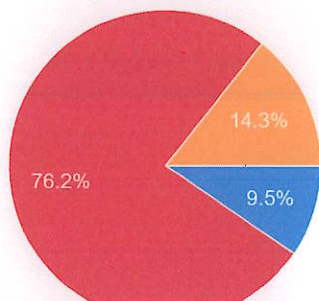
8 「なかよし学級活動」を、児童同士の心の交流...めの場として位置づけることができていたか。



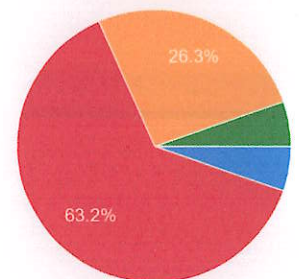
一学期



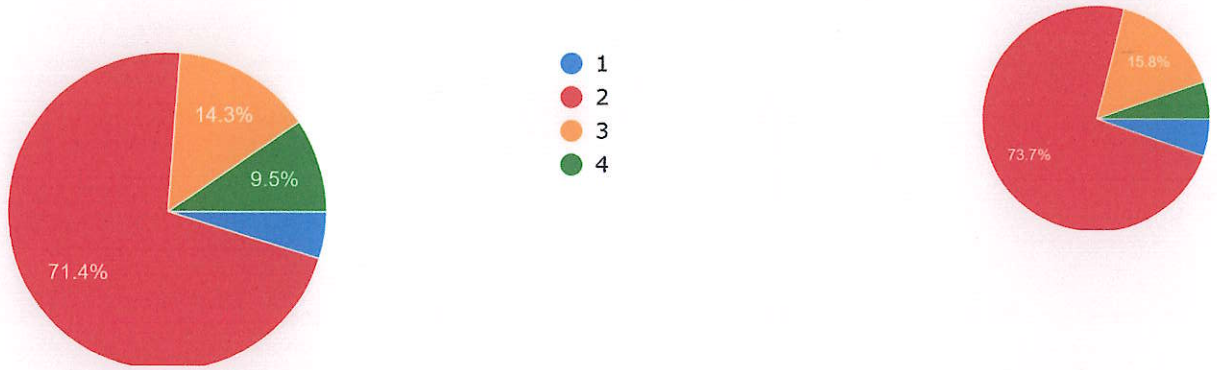
9 清掃や児童会の当番活動を継続して行うことで...くことの大切さを味わわせることができたか。



一学期



10 授業改善を意識した授業や児童一人一人を大...級経営について保護者に理解してもらえたか。 一学期



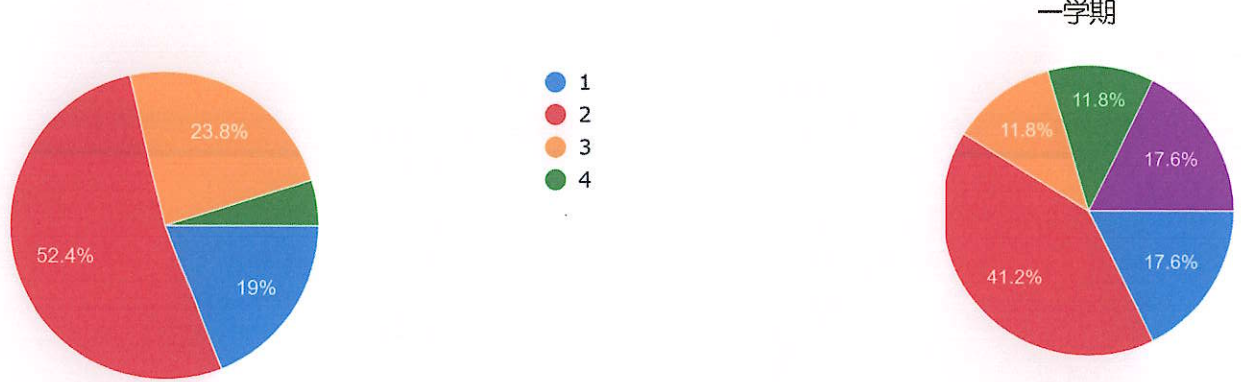
11 「学校だより」、ホームページ、「学年だよ...について保護者・地域に伝えることができたか。 一学期



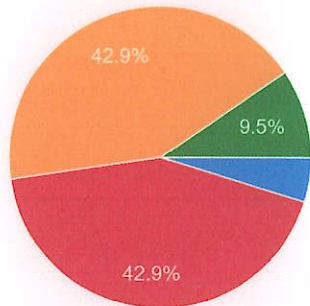
12 ふれあい隊の方々やPTAと協力して、児童...検を行ったりして児童の安全確保に努めたか。 一学期



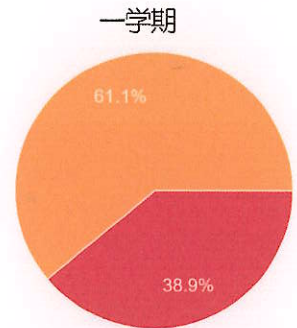
13 神科小コミュニティスクール（おたすけっ...業づくりに参画していただくことができたか。 一学期



1.4 日常的に授業を公開し、互いに見合い学び合...業改善のための研修を深めることができたか。



- 1
- 2
- 3
- 4



学校自己評価アンケート成果と課題

	他者との関わり 「やさしさ」(力を合わせる)	授業づくり・学力向上 「かしこさ」(自分で考える)	基礎定着・体力向上 「たくましさ」(ねばり強く)
1年	学級に所属意識を持ち、お互いに助け合いながら「やさしさ」について考えを深めている子どもたちがいる反面、学級間の差も大きい。まず担任自身、子どもたちが「やさしさ」を考えられるような他者(対子ども、保護者、同僚)との関わりを日々していく。	低学年の授業づくりはなんといっても事前の準備と取り組みの後の見返しが、学力向上に大きくつながっていく。努力して取り組んだ結果が実感できるような後付けを、担任が丁寧に、次の学習につなげていけるようにする。	学年として学級間の定着を合わせるために、年間を通して宿題量を揃えているが、特に必要があつて増やす場合は担任の意図を保護者にも丁寧に学級だより等で伝えていくようにする。基礎基本的な学習内容(漢字、計算力)は確実に個々の児童に個別支援を入れながら、学年全体で高めていく。
2年	相手の気持ちを考えながら、自分の思いを伝えられるよう、引き続き声掛けや指導をしていきたい。	聞く姿勢や大事なことを落とさず、聞くことについて繰り返し指導したり、良い姿は褒めて広げたりしたい。	低学年の内容が定着するよう、既習の学習を時々復習しながら個別にみていきたい。
3年	人間関係のスキルが身につくよう、その場その場で支援を続けていく。(相手の気持ちを考える場を大切に)学年全体であいさつの習慣を徹底させていく。(朝と帰りのあいさつ)	ドリル学習に粘り強く取り組めるよう、繰り返し学習する習慣を身に付けさせていく。(朝のドリル学習等)自分の考えをお互いに発表し合い、考えを深めていく場を大切にしていきたい。	のびのびや体育での教材をさらに工夫していきたい。掃除分担の細分化、めあての徹底(学年で足並みを揃える)持ち物などのチェックと家庭への啓発を大切にしていきたい。
4年	友達の話をしっかり聞く子どもたちにしていく。相手を大切にすることを考えさせていく。	その時間に考えることをはっきりさせて書く。(苦手な子には友達の考えを聞いて書くでもOK、負担のないところから始めていく)	2学期に引き続いて3~5分間音読を授業で取り入れる。宿題は繰り返して取り組むベース(漢字、音読、日記、単元の算数)とその子にあった家庭学習ノートで不得意に取り組んだり、得意を伸ばしたりすることを大事にして自分のための学習という意識をつけていきたい。
5年	児童会引継ぎに向けて、送る会や表現等も含めて一人一役責任をもって企画運営する場を設ける。また、各係からの提案についてみんなでよりよい会を創るために創造的に聞くことを大事にしたり、子どもたち同士の相互評価や教師からのフィードバックを大事にしたりしたい。	教科担任制の取り組みをさらに充実していきたい。そのために、教師がしゃべりすぎないことを学年全体の課題とし、教材研究を踏まえた上で、教師の出について絞って考えていきたい。	宿題プリントの効果的活用について考えていく。また、朝ドリルで、金曜日は複数体制で見る曜日と位置付けて複数の目で子どもを捉える、子どもへの指導を手厚くし、子どもたちも意欲をもってドリル学習に取り組めるようにする。
6年	<学年共通の声がけ>→できたことをほめて認めて自信と中学への自覚へつなげる。 ・温かい言葉を使おう。なかなかさん君呼びが徹底しないが、そこだけで指導するのではなく、常に温かい言葉がけを呼びかけていく。 ・卒業へ向けて心を合わせて歌っていく。	<学年共通の声がけ>→同様 ・コース別算数学習・学年で学習の進め方や方法を共有し、よりよい指導方法を探る。 ・宿題を学年で統一する。 ・自主学習の在り方の検討	<学年共通の声がけ>→同様 ・清掃・黙想→無言清掃→気づき清掃 ・朝ドリル・①学年統一の週一枚の漢字テストに向けて練習する。②週に一度書写を取り入れる。
ふれひま	通常級の担任との連携が上手くとれるように担任間で連絡を密にとりたい。(学校評価保護者の意見を受けて)学習発表会で、1年間の学習のまとめが発表できるようにしたい。原学級の学習発表会にも参加できるように支援したい。	集中して学習に向かえるように、場の工夫をしたり、1時間に取り組む学習内容をいくつか組み合わせたりする。卒業文集や学年のまとめの作文で、自分の思っていることや考えていることを言葉や文章で表現できる力をつけたい。	登校時間、持ち物、宿題への取り組みなど、個々の課題をはっきりさせて、自立活動を行うようにする。寒い季節なので、体を動かして遊んだり、うがい・手洗いを習慣化したりして元気に過ごせるようにしたい。
専科	「聴く」ことを系口に広げていきたい。学級差を感じるので、学年で良さを学び合えるといいと思う。	自分で考えたり、気づいたりすることを大事に取り組みさせたい。	あきらめたり、あきらまらないよう、スモールステップで繰り返し粘り強くできるようにしたい。